

CityView!

「CityView!」では、市のイベントや地域的话题を、皆さんにお届けします。
掲載した写真は、データで提供します。希望の方は問い合わせください。>



▼市災害対策本部員と避難所対応職員が情報共有を図る



▲各機関からの情報を整理

7月30日、8時25分頃にカムチャツカ半島付近で発生したマグニチュード8.7の地震により、宮城県沿岸に津波注意報および津波警報が発表されました。市では警戒配備(2号)態勢で各関係機関と警戒にあたり、「防潮堤の海側の地域への避難指示」を発令するとともに、防災行政無線により注意喚起放送を実施しました。市内での自主避難者は最大1,801人となりました。

宮城県沿岸に 津波警報発表

カムチャツカ半島発生地震



▲参加者全員で現地を視察して回りました

農林水産業等の 振興で18項目

農林水産業等の振興に関する要望会では、市と市議会が、地元選出県議と県東部地方振興事務所長、泉仙台地方振興事務所長に対し、県営ほ場整備事業の推進や米の需給と価格安定対策など18項目の要望書を提出しました。また一行は要望箇所視察と意見交換も行いました。

(7月29日、小野市民センターなど)

▲県の各担当者に要望書を手渡しました

市と市議会が県に要望



▼県担当者の説明を受けながら、現地視察しました

県土木部所管事業 に関する要望会

市内各所を現地視察・意見交換

市と市議会は、県東部土木事務所や県石巻港湾事務所などに所管事業に関する要望を行いました。潟美市長や市議会をはじめとした市関係者のほか、両所長、県議ら約40人が参加し、定川や矢本海浜緑地、野蒜洲崎湿地、野蒜海岸などを現地視察しながら、意見交換も行いました。

(7月14日)

▲県東部土木事務所長らに要望書を手渡しました



ふるさと納税推進室 を設置

寄付額増加に向け、体制強化

市は、ふるさと納税額の増加に向けた体制強化のため、新たに「ふるさと納税推進室」を設置し、7月1日から始動しました。これに先立ち、6月30日には職員への辞令交付式を実施しました。(市役所)



「国勢調査実施本部」 を設置

円滑な業務遂行へ

10月1日を基準日とした「令和7年国勢調査」の実施体制を整え、調査業務に万全を期すため、市は実施本部を設置しました。国勢調査は、日本の人口などを把握するため、5年に1度、全国民を対象に行われるものです。調査結果は、少子・高齢化関連施策や医療福祉、産業振興、雇用対策、防災計画など各種行政施策の基礎資料として幅広く活用される貴重な統計資料です。皆さんのご協力をよろしくお願いします。(6月30日、市役所)

宮城学院女子大学 舩井ゼミ

食育活動表彰で審査委員特別賞



東松島市をフィールドに、ICTを用いた食育・健康推進活動を展開する宮城学院女子大学現代ビジネス学科の舩井道晴准教授とそのゼミの学生が、先日行われた農林水産省主催の「第9回食育活動表彰」で、教育関係者・事業者部門 教育等関係者の部で審査委員特別賞を受賞。市に報告に訪れました。(7月10日、市役所)

市内唯一の 月浜海水浴場が 海開き



▲海岸で行われた神事



神事で安全祈願

今年も市内で唯一、宮戸地区の月浜海水浴場が海開きを迎え、7月19日朝に、市や地域の関係者が月浜海岸に集い、安全祈願の神事を実施しました。海開き初日の朝から、市内外の多くの海水浴客が訪れ、海水浴を満喫していました。

水田にすむ 生物の実態 を学ぶ

鳴瀬桜華小
田んぼの学校



宮城県や鳴瀬、河南矢本土改良区などで構成する東松島地区管理体制整備推進協議会は、鳴瀬桜華小学校の5年生47人を対象とした「田んぼの学校」を開きました。児童たちは学校近くの水田に住む生き物を網で捕まえて、種類や生態系を調査しました。また、田んぼや農業用水路の役割も学習しました。(6月26日、鳴瀬桜華小近くの水田)

演歌歌手 須賀さん 表敬訪問



『ふるさと春秋』でメジャーデビュー

東松島市出身の演歌歌手、須賀亮雄さんが、5月21日に「ふるさと春秋」でメジャーデビューを果たしました。須賀さんの芸名は、矢本地区にある須賀神社から由来しているとのこと。6月9日には市役所を訪れ、市長らに今後の活動に対する意気込みを話されました。

等身大の思い堂々と 少年の主張東松島市大会

三中学校から八人熱弁



第20回少年の主張(東松島市大会)主催・東松島市青少年健全育成市民会議には、市内3中学校の代表生徒8人が出場し、学校や私生活、将来の夢、物事の考え方などをテーマに掲げ、等身大の熱い思いを伝えました。その結果、最優秀賞には「髪を伸ばす理由」と題した跡見美都さん(矢本一3年・右写真)、優秀賞には「自分を信じること」と題した武山葵さん(矢本一3年)が選ばれました。2人は9月2日に開かれる石巻地区大会に東松島市代表として推薦されました。(7月10日)

夏休みの 米粉クッキー教室

～講師は加工研究会の会員さん～



道の駅東松島に併設する加工施設で米粉クッキー教室を開催しました。参加した小学生15人は、東松島市地域加工研究会の会員さんに教わりながら、楽しく真剣に作業。様々な形にくり抜いたクッキーは特製の箱に入れて完成。夏休みの楽しい思い出になりました。(8月2日)

長寿の秘けつは 「よく会話をする」と

小松の及川さん 100歳のお祝い



小松字上二間堀にお住まいの及川光子さんが、100歳の誕生日を迎え、八木副市長が祝詞を手渡しました。及川さんは上下堀出身の大正14年生まれ。現在はベッドで寝ている時間が多い生活ですが、以前は料理や相撲中継の観賞が好きだったといいます。長寿の秘けつは「家族や近所の人など、よく会話をすること」だといいます。(7月7日、自宅)

犯罪や非行防止と、立ち直りを推進

社会を明るくする運動
強化月間で啓発



▲陸前小野駅での啓発活動

犯罪や非行の防止と、罪を犯した人の更生支援に地域で取り組む「第75回社会を明るくする運動」の強化月間に合わせて、7月1日に東松島市でも啓発活動が行われました。市内にあるJRの陸前赤井、東矢本、矢本、陸前小野、野蒜、東名の各駅で、社会を明るくする運動東松島市推進委員会の会員の皆さんが、通勤通学中の学生や社会人の皆さんに啓発用のティッシュを手渡し、周知に努めました。また6月23日に市役所で石破茂内閣総理大臣のメッセージが東松島市保護司会関係者から渥美市長に伝達されました。